

# ザイリンクス ランタイム (XRT) リリース ノート

UG1451 (v2020.1 PU1) 2020 年 8 月 20 日

この資料は表記のバージョンの英語版を翻訳したもので、内容に相違が生じる場合には原文を優先します。資料によっては英語版の更新に対応していないものがあります。日本語版は参考用としてご使用の上、最新情報につきましては、必ず最新英語版をご参照ください。



# 改訂履歴

次の表に、この文書の改訂履歴を示します。

セクション	改訂内容
<b>2020年8月20日バージョン2020.1 PU1</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">RHEL/CentOS のサポート</a></li><li>• <a href="#">Ubuntu のサポート</a></li><li>• <a href="#">PetaLinux のサポート</a></li></ul>	OS サポートについて記述した新規トピックを追加。
<a href="#">サポートされるソフトウェア コンポーネントのバージョン</a>	2020.1 PU1 の値を含めてアップデート。
<a href="#">新機能</a>	新しい内容を含めてアップデート。
<a href="#">修正された問題</a>	新しい内容を含めてアップデート。
<a href="#">既知の問題</a>	新しい問題とアンサー レコードへのリンクを追加。
<a href="#">参考資料</a>	新しい参考資料を含有。
<b>2020年6月3日バージョン2020.1</b>	
初版。	なし

# 目次

改訂履歴.....	2
第 1 章: ザイリンクス ランタイム (XRT) の概要.....	4
XRT のオペレーティング システム サポート.....	4
サポートされるソフトウェア コンポーネントのバージョン.....	5
第 2 章: 新機能.....	6
新機能.....	6
主な変更点.....	6
既知の問題.....	6
付録 A: その他のリソースおよび法的通知.....	7
ザイリンクス リソース.....	7
参考資料.....	7
お読みください: 重要な法的通知.....	7

# ザイリンクス ランタイム (XRT) の概要

ザイリンクス ランタイム ライブラリは、アプリケーション コード (エンベデッド Arm® または x86 ホスト上で実行) と、PCIe® ベースのザイリンクス アクセラレータ カード、Zynq® UltraScale+™ MPSoC ベースのエンベデッド プラットフォーム、または ACAP のリコンフィギャラブル部分で運用されるアクセラレータの間の通信を制御します。

XRT はオープンソース プロジェクトです。ソース コードは <https://github.com/Xilinx/xrt> でホストされており、資料は <https://xilinx.github.io/XRT/> にあります。

XRT を Vitis™ 統合ソフトウェア プラットフォームと共に使用方法については、『Vitis 統合ソフトウェア プラットフォームの資料』 (UG1416) の [Vitis アプリケーション アクセラレーション開発フロー](#) を参照してください。

## XRT のオペレーティング システム サポート

### RHEL/CentOS のサポート

表 1: 86\_64 アーキテクチャ

OS バージョン	カーネル バージョン
7.4	3.10.0-693
7.5	3.10.0-862
7.6	3.10.0-957
7.7	3.10.0-1062
7.8	3.10.0-1127
8.1	4.18.0-147

注記: XRT では、インストールにカーネル ヘッダー パッケージが必要です。CentOS の場合、リリースによってはカーネル ヘッダー パッケージしか含まないものもあるので、XRT ではカーネル ヘッダー パッケージを提供する CentOS バージョンしかサポートされません。

### Ubuntu のサポート

表 2: 86\_64 アーキテクチャ

OS バージョン	カーネル バージョン
16.04.5 LTS	4.4.0-179
16.04.6 LTS	16.04.6: 4.4.0-186-generic
18.04.1 LTS	4.15.0-101-generic

表 2: 86\_64 アーキテクチャ (続き)

OS バージョン	カーネル バージョン
18.04.2 LTS	4.15.0-45-generic
18.04.4 LTS <sup>1</sup>	4.15.0-76-generic

**注記:**

- デフォルトでは、Ubuntu 18.04.4 デスクトップで HWE がイネーブルになりますが、サーバー バージョンはイネーブルになりません。  
バージョンの詳細は、[Ubuntu ウェブサイト](#)を参照してください。

**注記:** Ubuntu ハードウェア イネーブルメント (HWE) は、Linux カーネル バージョンをサポートされていない 5.x に変更するので、サポートされていません。



**警告:** Ubuntu [ライブパッチサービス](#)を使用すると、カーネルパッチが自動的に適用される可能性があります。ただし、XRT はライブパッチに対してはテストされていません。互換性の問題が発生しないようにするには、カーネルの自動アップグレード機能をディスエーブルにしてください。

## PetaLinux のサポート

表 3: aarch64、cortexa9 アーキテクチャ

OS バージョン	カーネル バージョン
2020.1	5.4

## サポートされるソフトウェアコンポーネントのバージョン

コンポーネント	バージョン
リリース	2020.1_PU1
XRT ビルド バージョン	2.7.766
XRT Git ハッシュ	19bc791a7d9b54ecc23644649c3ea2c2ea31821c
XRT GitHub タグ	202010.2.7.766

# 新機能

---

## 新機能

このバージョンのザイリンクス ランタイム (XRT) には、次の新機能があります。

### 新しい OS システム バージョンをサポート

- RHEL/CentOS: バージョン 7.7、7.8、8.1
- Ubuntu: バージョン 18.04.4 LTS

---

## 主な変更点

このリリースには、次の主な変更点が含まれています。

### Python サポート アップデート

xbutil validate では特定のテストに対して Python3 を使用するようになりました。XRT の Python2、PyOpenCL、および NumPy の依存性はなくなっています。Linux ディストリビューションの Python3 パッケージがパッケージ マネージャーでインストールできるようにしてください。

---

## 既知の問題

既知の問題の最新情報は、[ザイリンクス アンサー 75485](#) を参照してください。

# その他のリソースおよび法的通知

## ザイリンクス リソース

アンサー、資料、ダウンロード、フォーラムなどのサポート リソースは、[ザイリンクス サポート](#) サイトを参照してください。

## 参考資料

次の文書は、補足資料として役立ちます。

- [ザイリンクス XRT ポータル](#)
- [GitHub の XRT ソース コード](#)
- [XRT の資料](#)
- 『Vitis 統合ソフトウェア プラットフォームの資料』 ([UG1416](#))

## お読みください: 重要な法的通知

本通知に基づいて貴殿または貴社 (本通知の被通知者が個人の場合には「貴殿」、法人その他の団体の場合には「貴社」。以下同じ) に開示される情報 (以下「本情報」といいます) は、ザイリンクスの製品を選択および使用することのためにのみ提供されます。適用される法律が許容する最大限の範囲で、(1) 本情報は「現状有姿」、およびすべて受領者の責任で (with all faults) という状態で提供され、ザイリンクスは、本通知をもって、明示、黙示、法定を問わず (商品性、非侵害、特定目的適合性の保証を含みますがこれらに限られません)、すべての保証および条件を負わない (否認する) ものとし、また、(2) ザイリンクスは、本情報 (貴殿または貴社による本情報の使用を含む) に関し、起因し、関連する、いかなる種類・性質の損失または損害についても、責任を負わない (契約上、不法行為上 (過失の場合を含む)、その他のいかなる責任の法理によるかを問わない) ものとし、当該損失または損害には、直接、間接、特別、付随的、結果的な損失または損害 (第三者が起こした行為の結果被った、データ、利益、業務上の信用の損失、その他あらゆる種類の損失や損害を含みます) が含まれるものとし、それは、たとえ当該損害や損失が合理的に予見可能であったり、ザイリンクスがそれらの可能性について助言を受けていた場合であったとしても同様です。ザイリンクスは、本情報に含まれるいかなる誤りも訂正する義務を負わず、本情報または製品仕様のアップデートを貴殿または貴社に知らせる義務も負いません。事前の書面による同意のない限り、貴殿または貴社は本情報を再生産、変更、頒布、または公に展示してはなりません。一定の製品は、ザイリンクスの限定的保証の諸条件に従うこととなるので、<https://japan.xilinx.com/legal.htm#tos> で見られるザイリンクスの販売条件を参照してください。IP コアは、ザイリン

クスが貴殿または貴社に付与したライセンスに含まれる保証と補助的条件に従うこととなります。ザイリンクスの製品は、フェイルセーフとして、または、フェイルセーフの動作を要求するアプリケーションに使用するために、設計されたり意図されたりしていません。そのような重大なアプリケーションにザイリンクスの製品を使用する場合のリスクと責任は、貴殿または貴社が単独で負うものです。<https://japan.xilinx.com/legal.htm#tos> で見られるザイリンクスの販売条件を参照してください。

### 自動車用のアプリケーションの免責条項

オートモーティブ製品 (製品番号に「XA」が含まれる) は、ISO 26262 自動車用機能安全規格に従った安全コンセプトまたは余剰性の機能 (「セーフティ 設計」) がない限り、エアバッグの展開における使用または車両の制御に影響するアプリケーション (「セーフティ アプリケーション」) における使用は保証されていません。顧客は、製品を組み込むすべてのシステムについて、その使用前または提供前に安全を目的として十分なテストを行うものとします。セーフティ設計なしにセーフティ アプリケーションで製品を使用するリスクはすべて顧客が負い、製品責任の制限を規定する適用法令および規則にのみ従うものとします。

### 商標

© Copyright 2020 Xilinx, Inc. Xilinx、Xilinx のロゴ、Alveo、Artix、Kintex、Spartan、Versal、Virtex、Vivado、Zynq、およびこの文書に含まれるその他の指定されたブランドは、米国およびその他の各国のザイリンクス社の商標です。PCI、PCIe、および PCI Express は PCI-SIG の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。AMBA、AMBA Designer、Arm、ARM1176JZ-S、CoreSight、Cortex、PrimeCell、Mali、および MPCore は、EU およびその他の各国の Arm Limited の商標です。すべてのその他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

この資料に関するフィードバックおよびリンクなどの問題につきましては、[jpn\\_trans\\_feedback@xilinx.com](mailto:jpn_trans_feedback@xilinx.com) まで、または各ページの右下にある [フィードバック送信] ボタンをクリックすると表示されるフォームからお知らせください。フィードバックは日本語で入力可能です。いただきましたご意見を参考に早急に対応させていただきます。なお、このメール アドレスへのお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。